

第11回

らくらく
経済学入門
試験対策講座

第11回 全3コマ
使用テキスト：らくらくミクロ経済学入門
らくらくマクロ経済学入門

講師 茂木 喜久雄
収録：13:30~16:30
サクシード

P85
ISパナ入論
<45°分析>

→ 内需

$$Y^D = C + I + G + X - M$$

$$Y^S = C + S + T$$

$$Y^D = Y^S$$

$$C + I + G + X - M = C + S + T$$

$$(S - I) + (T - G) = (X - M)$$

↓
民間収支
⊕

↓
財政収支
0

↓
貿易収支
⊕

パイプ-ブ=3/30・アイロー子

$$Y = C + I + G + X - M$$

内需

$$Y - \text{内需} = (X - M)$$

貿易収支

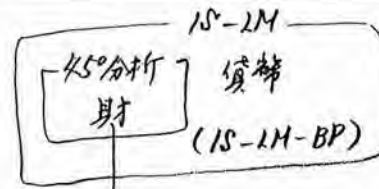
らくらく
経済学入門
試験対策講座

第11回 全3コマ
使用テキスト：らくらくミクロ経済学入門
らくらくマクロ経済学入門

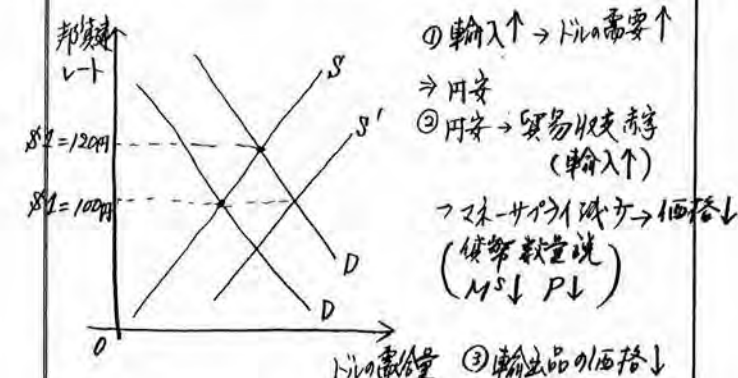
講師 茂木 喜久雄
収録：13:30~16:30
サクシード

P210 (P220)
為替レートの調整

81 = 09円



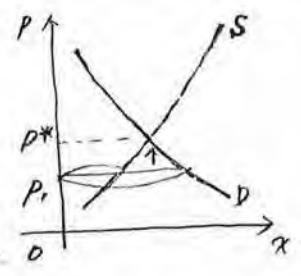
為替レート
\$1 = 100円 } 自動的に調整される
\$1 = 120円 } <古典派>



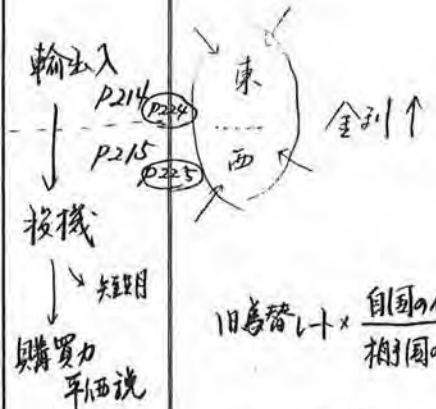
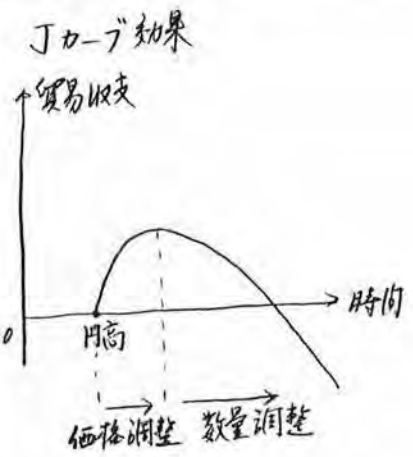
- ① 輸入↑ → ドル需要↑
- ⇒ 円安
- ② 円安 → 貿易収支赤字 (輸入↑)
- ⇒ 2本-サイ ↓ 減少 → 価格 ↓ (貨幣数量説) (Ms ↓ PL)
- ③ 輸出品の価格 ↓
- ⇒ 輸出 ↑ → ドル供給 ↑
- ⇒ 円高 → 改善

P214
 (P224)

理論
 ● 自動的調整
 ワルラス的価格調整
 マカズム
 価格 → 数量
 調整 調整
 (為替レト) (輸出入量)
 マーシャル・ラーナーの
 安定化条件



実際
 マーシャル・ラーナーの安定化条件は
 短期では成立せず
 <数量調整ラグ>
 P215 ① 長期契約
 ② 占有率
 (シェア
 差別化)



旧為替レト × $\frac{\text{自国の為替率}}{\text{相対国の為替率}}$ = 新為替レト

120円 × $\frac{105\%}{110\%} = 114円$

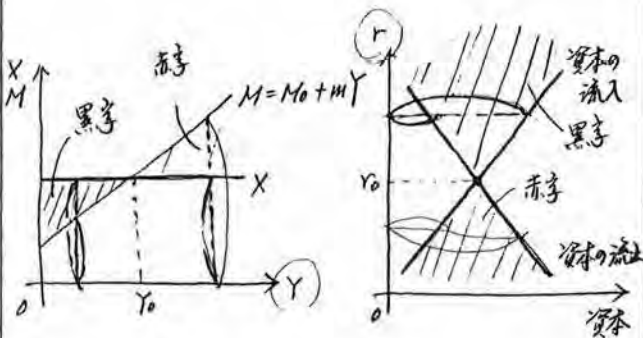
アメリカ	日本
15%	5%
120円	100円

4
 ↓
 ドルの価値が
 下がっている

P220
P232
IS-LM-BP
分析

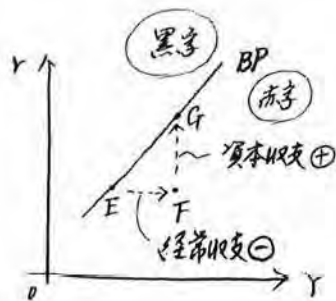
国際収支 (BP) = 財 貨物
经常収支 + 資本収支 = 0
(貿易収支) k
X - M

经常収支
→ Yに依存

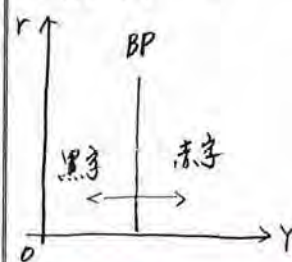


資本収支
→ rに依存

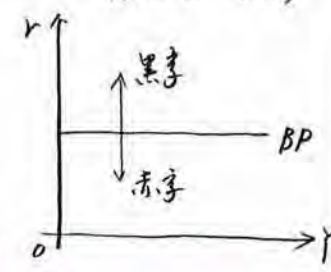
P221
P233
BP曲線の
導出



① 垂直なBP曲線
<資本移動ゼロ>



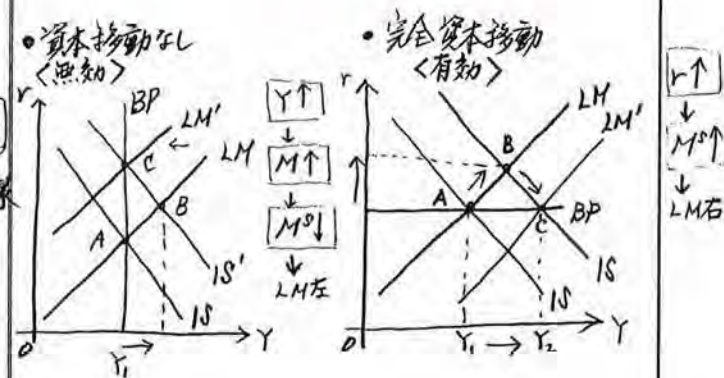
② 水平なBP曲線
<完全資本移動>



マンデル=フレミング・モデルは、
Unit-4で詳しく行います。

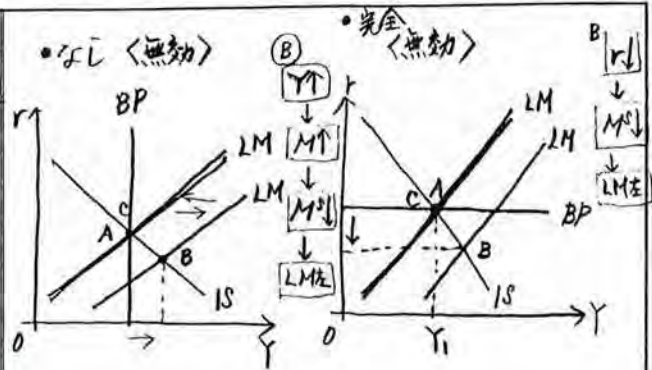
P222
P234
↓
財政・金融
政策

固定相場制
↓
財政政策



固定相場制

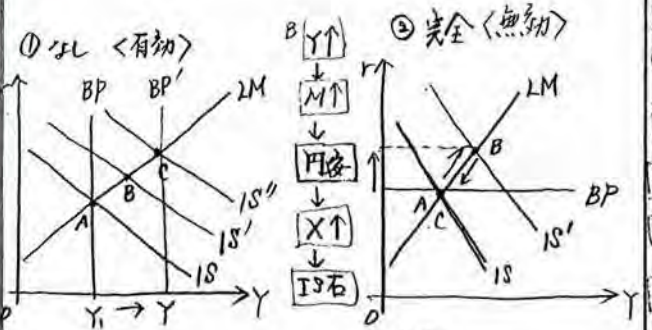
金融政策



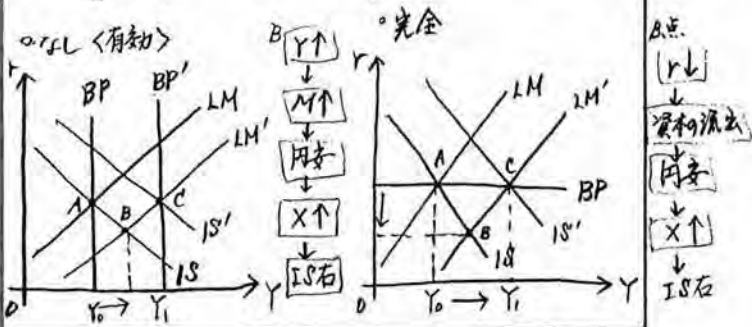
変動相場制

円高円安
BPは自動調整

P224
P236
財政政策



金融政策
P225
P237



P232
P244
国民経済
計算

国民総生産
(GNP)
日本人の所得合計

